

- 7) 鍛治利幸, 高田昌和, 宮原龍郎, 狐塚 寛, 小泉富美朝: 培養鶏胚骨の骨形成に対するカドミウム (Cd), 銅 (Cu) および亜鉛 (Zn) の作用. 第20回日本結合組織学会総会, 1988, 6, 福島.
- 8) 東出慎治, 龍村俊樹, 山口敏夫, 古野利夫, 美濃一博, 津田基晴, 山本恵一, 松井寿夫, 小泉富美朝, 山崎 肇: 胸骨腫瘍として認めた myeloma の1症例. 第42回北陸医学会総会, 1988, 9, 福井.
- 9) 多喜博文, 鈴木英彦, 加藤弘巳, 矢野三郎, 飯田博行, 若木邦彦, 泉 三郎: 抗 ENA 抗体高値陽性を示した結節性多発動脈炎の1症例. 第42回北陸医学会総会, 1988, 9, 福井.
- 10) Kawaguchi M. and Koizumi F.: Quantitative study on phagocytosis of human tonsillar adherent cells by immunocytochemical method. The XVIIth International Congress International Academy of Pathology. 1988, 9, Dublin.
- 11) 小泉富美朝, 北澤幹男: アレルギー性肉芽腫性血管炎の検討; パネルデスクッション「好酸球増多症と血管炎」. 第29回日本脈管学会総会, 1988, 10, 浜松.
- 12) 小泉富美朝, 川口 誠: 機能形態研究へのアプローチ; シンポジウム「扁桃研究の最近の進歩—形態学的立場より—」. 第28回日本扁桃研究会総会, 1988, 11, 広島.
- 13) 若木邦彦: 女性尿道に発生した mesonephroid carcinoma の1例. 第27回日本臨床細胞学会秋期大会学術講演会, 1988, 11, 広島.

◆ その他

- 1) 小泉富美朝, 長沢俊彦, 吉沢久嘉, 青木重久, 直江史郎: アレルギー性肉芽腫性血管炎 (Churg-Strauss 症候群) の診断基準の提案. 厚生省特定疾患・系統的脈管障害調査研究班, 1987年度研究報告書 P.102~103, 1988.
- 2) 北澤幹男, 谷内宗臣, 倉茂洋一, 小泉富美朝: アレルギー性肉芽腫性血管炎のモデル動物の検討 (第二報). 厚生省特定疾患・系統的脈管障害調査研究班, 1987年度研究報告書 P.107-109, 1988.
- 3) 長沢俊彦, 小泉富美朝, 橋本博史, 安倍 達, 柴田整一: Wegener 肉芽腫症治療指針の提唱. 厚生省特定疾患・系統的脈管障害調査研究班, 1987年度研究報告書 P.119-121, 1988.
- 4) 上山武史, 富川正樹, 横川雅康, 小泉富美朝: 閉塞性動脈硬化症を続発したバージャー病症例の検討. 厚生省特定疾患・系統的脈管障害調査研究

班, 1987年度研究報告書 P.163-165, 1988.

病理学 (寄生虫学)

助 教 授 上 村 清
教 務 員 荒 川 良

◆ 著 書

- 1) 吉村裕之, 上村 清, 近藤力王至: 「寄生虫学新書 第8版」, 339pp, 文光堂, 東京, 1988.
- 2) 荒川 良, 上村 清, 五十嵐隆夫, 寺西秀豊: 昆虫・ダニアレルギー症対策に関する基礎的研究——特に畳内に生息するダニ相について——. 「家屋害虫2」日本家屋害虫学会編, 325-334, 井上書院, 東京, 1988.
- 3) 上村 清: ニホンライチョウに寄生のアイメリア・ウエキイについて. 「富山の動物——深海から高山まで——」富山県動物生態研究会編, 58-61, 富山市科学文化センター, 富山, 1988.

◆ 原 著

- 1) 荒川 良, 中村正聡, 上村 清: 樹洞性オオモリハマダラカ *Anopheles omorii* の累代飼育法. 衛生動物 40: 347-353, 1988.

◆ 総 説

- 1) 上村 清: 日本におけるマラリアの流行低下について. Lupe 25: 21-28, 1988.

◆ 学会報告

- 1) 渡辺 護, 荒川 良, 上村 清, 森田修行, 小橋恭一: 富山県における日本脳炎流行予測調査にかかわる19年間の成績. 第22回富山県公衆衛生学会大会, 1988, 3, 富山.
- 2) 荒川 良: 立山及び富山市周辺部におけるクロバエ類の生態. 第4回 Vector Ecology and Control Association 勉強会, 1988, 4, 名古屋.
- 3) Syafruddin, 上村 清, 熊田時正, 川本文彦: JH 様化合物 S-31183 の作用機序に関する組織病理学的研究. 第40回日本衛生動物学会大会, 1988, 4, 名古屋 (衛生動物39: 174).
- 4) 堀尾政博, 塚本増久, 上村 清: インド, スリランカでの *Toxorhynchites* (オオカ) 類の採集成績と人工飼育化. 第40回日本衛生動物学会大会, 1988, 4, 名古屋 (衛生動物39: 178).
- 5) 倉橋 弘, 上村 清, 荒川 良, 渡辺 護: 立山高山帯での夏季クロバエ類の多発 1. オオクロバエ. 第40回日本衛生動物学会大会, 1988, 4, 名古屋 (衛生動物39: 189).
- 6) 上村 清, 堀尾政博, 食橋 弘, M. Afzal: 南

- 西アジアにおける分布上興味ある蚊について。第40回日本衛生動物学会大会, 1988, 4, 名古屋(衛生動物39:179)。
- 7) 塚本増久, 堀尾政博, 上村 清, 荒川 良: 立山産蚊幼虫諸酵素の電気泳動像。第40回日本衛生動物学会大会, 1988, 4, 名古屋(衛生動物39:182)。
- 8) 中村正聡, 荒川 良, 上村 清, 佐々 学, 今井弘民: 蚊の体細胞染色体標本作製法の検討。第40回日本衛生動物学会大会, 1988, 4, 名古屋(衛生動物39:182)。
- 9) 荒川 良, 中村正聡, 上村 清: 樹洞性のオオモリハマダラカの累代飼育の成功。第40回日本衛生動物学会大会, 1988, 4, 名古屋(衛生動物39:183)。
- 10) 荒川 良, 中村正聡, 上村 清, 一盛和世: オオモリハマダラカにおける嵐マラリアの実験的伝播。第40回日本衛生動物学会大会, 1988, 4, 名古屋(衛生動物39:183)。
- 11) 稲岡 徹, 上村 清, 篠永 哲, 倉橋 弘, 斉藤一三, 上宮健吉, M. Afzal: パキスタンのアブについて。第40回日本衛生動物学会大会, 1988, 4, 名古屋(衛生動物39:194)。
- 12) 荒川 良: マラリア媒介能を有する日本特産オオモリハマダラカの生物学的諸特性について。第6回北陸病害動物談話会, 1988, 6, 金沢(北陸病害動物談話会会報1:10)。
- 13) 上村 清, 堀尾政博, 土井隆雄: 南西アジア, とくにパキスタンにおける蚊媒介疾患の状況について。第3回日本国際保健医療学会総会, 1988, 7, 神戸(同抄録: B3)。
- 14) 荒川 良, 上村 清: オオモリハマダラカの生態学的研究 I. 室内飼育における発育と成虫の交尾について。第48回日本昆虫学会大会, 1988, 10, 那覇。
- 15) 一盛和世, 栗原 毅, 荒川 良, 上村 清: オオモリハマダラカ *Anopheles omorii* のネズミマラリア *Plasmodium yoelii nigeriensis* に対する感受性。第30回日本熱帯医学会総会, 1988, 10, 長崎(日熱医学会誌16(増):87)。
- 16) 村上巧啓, 松野正知, 沢井昌子, 足立陽子, 足立雄一, 岡田敏夫, 荒川 良, 五十嵐隆夫, 吉住昭, 阿部時也, 小田良彦: 屋内ダニ用検査キット(ACAREX-Test)の検討。第25回日本小児アレルギー学会, 1988, 11, 名古屋。
- 17) 上村 清: 南アジアの自然と風物。第100回富山県動物生態研究会例会, 1988, 12, 富山。

◆ その他

- 1) 上村 清, 倉橋 弘, 篠永 哲, 斉藤一三, 上宮健吉, 稲岡 徹, 堀尾政博, 岩佐光啓: 南西アジア地域における人畜有害双翅類昆虫の動物地理学的研究(昭和62年度:予報)。衛生動物, 39:213, 1988。
- 2) 渡辺 護, 荒川 良, 上村 清: 富山県におけるコガタアカイエカ捕集数の過去19年間の変動。衛生動物 39:213, 1988。
- 3) 荒川 良: 立山及び富山市周辺部におけるクロバエ類の生態。VECA News, (9):1-6, 1988。

細菌学・免疫学

教授	小西健一
助教授	山岸高由
講師	坂本憲市
助手	河合幸一郎
助手	鈴木修一郎
文部技官	井上裕美子

◆ 著書

- 1) Yamagishi, T. and Konishi, K.: Some Characteristics of an Unnamed *Vibrio* Isolated from Cholecystitis. In: Advances in Research on Cholera and Related Diarrheas, 06 (Ed. Oh-tomo, N. and Sack, R.B.), 61-74, 1988, KTK Scientific Pub., Tokyo.

◆ 原著

- 1) Sakamoto, K. and Konishi, K.: Antitumor effect of normal intestinal microflora on ehrlich ascites tumor. Jpn. J. Cancer Res. (Gann), 79(1), 109-116, 1988.
- 2) Morinaga, S., Sakamoto, K. and Konishi, K.: Antitumor activity and its properties of *Eubacterium lentum*. Jpn. J. Cancer Res. (Gann), 79(1), 117-124, 1988.
- 3) 角田美鈴, 大門良男, 松田正毅, 桜川信男, 山岸高由, 小西健一: 多発性腎嚢胞腫患者の血中からの *Campylobacter fetus* subsp *fetus* の検出例。メディヤサークル, 33(1), 5-7, 1988.
- 4) Mizushima, Y., Morikage, T., Hirata, H., Sato, M., Sakamoto, K. and Yano, S.: Synergistic therapeutic effect of combination therapy with OK-432 interferon-alpha or-gamma on Meth-A ascites tumor in BALB/c mice. J. Biol. Response Mod., 7(4), 371-383, 1988.